

株式会社愛媛キャンパス情報サービス（仮称）設立趣意書（案）

平成18年1月吉日
(株)「愛媛キャンパス情報サービス」設立準備委会

はじめに

国立大学の法人化によって、従来からの大学の運営、経営形態が大きく変化しました。一方で、国をあげて進められているe-Japan戦略等による情報化・IT（情報通信技術）化は地方にも急速に浸透しつつあり、また大学にとっても取組みの必要性は、大学の教育、研究はもとより管理運営や地域貢献活動のすべての面で日増しに重要性を増しています。このような状況下で、愛媛大学でも情報担当理事やIT化計画室を中心とし、大学のIT化を推進しつつ、それと結合して地域社会のIT化推進支援に向けての検討を重ねています。この中でも、

1. 従来は「総合情報メディアセンター」を中心に行っていた、情報システムや情報ネットワークあるいはデータベース等の管理
2. 大学情報に関する情報セキュリティ確保
3. e-Learningの支援とコンテンツ作成及びホームページの作成・維持管理
4. 大学の管理運営に必要な各種ソフトウェア・システムの開発と維持管理

等の現業の実務は、大学経営上からも大学業務から切り離して、アウトソーシング化することの必要性が指摘されてきました。しかし、上記の諸課題の多くは、大学の教職員との日常的な協調の下で行われる必要があり、単に学外にアウトソーシングするのみでは、現在より優れたIT環境を構築し得ないことも事実です。

そこで、IT化計画室での検討の結果、今後の国立大学法人の厳しい経営環境に適応するためには、これら業務のアウトソーシングの受け皿となる企業（事実上の愛媛大学の子会社としての仮称「株式会社愛媛キャンパス情報サービス」）（以下、「e-CIS」という。）を適切な形で設立する方向が、最も効果的な選択であるとの結論を得ました。

小松学長も、本年1月に、第二期目の任期に入られることに関連して、愛媛大学の今後の改革方針についてのご抱負を「愛媛大学のさらなる改革に向かって」と題して表明されておられます。その中で、教育・研究・地域連携・国際化とならんで、これらの活動を支える、愛媛大学の自律的運営体制の確立と財政基盤の強化について『情報関連のサービス業務は、新たに受け皿となる企業を興し、ITサービス業務は思い切って外部化することを計画中です。これによって、学内のセキュリティーの水準をより一層高め、図書館サービスの電子化・デジタル化、IT教育支援、人材の派遣等、柔軟に対応する態勢を整えることができます。』と述べておられます。

設立の詳細と事業内容

・「e-CIS」の理念と目標

愛媛大学の持つ人的・知的資源を最大限に活用し、愛媛大学及び愛媛大学に関連する業務のIT化を実践することを第一の理念目標とします。第二に、大学運営の効率化に寄与し、運営費交付金の効果的な執行、大学と地域とのIT系諸課題に関する接点、地域の産業育成のため

の大学の施策実現のための場となることをも目標とし、新しい時代の地域に立脚する大学のあり方を考える場となることも目指します。

・ 「e-CIS」の設立に当たってのコンセプト

「e-CIS」は、基本的には「愛媛大学の、愛媛大学関係者による、愛媛大学のための会社」として、大学の教育・研究、管理運営、地域貢献のIT化推進を目指し、同時に愛媛大学の業務運営コストの効果的な低減を図るために設立するものです。

- a) 「e-CIS」設立にあたり、その設立に係る資金調達及び運転資金調達の方法において、本来的には「国立大学法人愛媛大学の出資」の形態を採用すべきですが、現段階においては、国立大学法人に関する規制の問題で、現段階では、この方法によることが出来ません。しかし、上記の規制が緩和されればすぐにでも、本来の形に戻れるようにする必要があります。また、大学のIT系業務のアウトソーシングの受け皿会社としての業務を円滑に遂行するためにも、「e-CIS」が自己の利益追求に走ることを防ぐ必要もあります。このため、まず愛媛大学関係者に出資をお願いし、「e-CIS」の設立コンセプトに合致した形での健全な運営を行う必要があります。
- b) 「e-CIS」設立に当たっては周到な準備を要しますが、一旦設立を決意した限りはできるだけ早期の会社設立を目指すものとします。現状では、平成18年4月初旬の開設を計画しています。

・ 「e-CIS」運営のコンセプト

「e-CIS」の設立のためのコンセプトに鑑み、愛媛総研の業務が色々の意味で、愛媛大学の教育の一環を担い、研究を支援し、管理運営の業務や経営の効率化に寄与し、かつ、愛媛大学と地域の連携を活性化し、かつ愛媛大学の同窓生その他関係者へも恩恵を与える必要があります。このため、「e-CIS」の運営に関しては、以下の点を重視します。

- a) 愛媛大学の教職員・学生等の大学のIT化に関する要求を受け止め、それらを実現できるよう、愛媛大学内に業務の中心を置きます。
- b) 愛媛大学の学生が、IT系・メディア系の実学訓練を行うために、情報系・メディア系の大学院生をシステム開発要員やシステム・ネットワーク保守要員として活用します。学生は、実学訓練という貴重な場を得るのみでなく、経済的支援を受けることも可能で、21世紀の知識基盤社会・高学歴化社会において、高度専門技術者を目指しての大学院博士後期課程への進学希望者への経済支援も可能になります。
- c) 具体的なシステム開発要員、コンテンツ作成要員、システム・ネットワーク保守要員として大学院生を活用することにより、通常の間接委託に比較してはるかに低価格でのサービスが可能になります。また、各種開発の責任者には、大学関係者が関与するため、個人情報保護を含めたセキュリティ確保には安心することが出来ます。
- d) これらのシステム開発、コンテンツ作成、ネットワーク等の設計は、愛媛大学教員の中で専門分野が合致する教員に協力教員として共同研究の締結を依頼し、学問の実社会への応用という面から支援していただきます。

- e) 愛媛大学の運営の効率化のため、愛媛大学からの受注はすべて可能な限り低額とし、愛媛大学の財務への貢献を目指します。
- f) 会社運営の効率化にも最大限の注意を払います。正規の社員数も必要最低限におさえ、大学内での業務実績を有する「愛媛大学生協」と色々な面で業務委託契約を締結し、会社運営コストの低減化を図ります。また、地域の各種企業との提携により、安定的な業務展開を行います。
- g) 校友会、就職支援室と連携し、就職希望ながら就職先未決定の学生や、就職後に職務内容が不適合な卒業生に対するキャリアアップのための教育を行い、愛媛大学全体の就職率向上に協力します。また、これら学生・卒業生等を学内で必要な部署に派遣できるようにし、今後の愛媛大学の職員減に対応します。

・ 「e-CIS」と地域貢献

愛媛大学の大きな課題として、大学が立脚する地域（愛媛県、松山市、その他）への貢献がますます要求されます。地域住民への大学情報の発信、各自治体をはじめとする地域の抱える様々な問題を新しい研究課題とする大学の取組み、地域経済や地域企業の活性化のための大学の施策等です。この中で、時代とともにIT関連分野での地域貢献に関する事項が増加しています。これらに効果的、弾力的に対応するためには、大学としての直接的な活動だけでは限界があり、この限界を突破し、円滑かつ効率的に大学の知的資源を地域に還元する最適の形態としての株式会社があります。

・ 「e-CIS」で行う具体的業務

以上に述べましたように、「キャンパスネット」では、愛媛大学に関連するIT系業務のアウトソーシングの受け皿企業であることを、設立の第一義としていますが、これらの分野で一定の成果を収めた後は、人材育成分野にも、進出する予定です。前者を「ソリューション事業」、後者を「人材育成事業」としますと、具体的に取り扱う業務は次のようなものになります。

1) ソリューション事業

- ① 情報系学術研究支援、計算システムとネットワークの維持管理・保守
- ② 大学の情報ネットワークのセキュリティ対策
- ③ 大学ポータルサイトの運営支援を通じての情報化支援と大学情報の学外発信支援
- ④ 各種システム開発（Web登録システム、大学ポータル、成績管理、入試、その他）
- ⑤ 「情報科学」にかわる「情報資格」等e-Learningの管理とコンテンツ作成
 - 情報リテラシー、情報検索、情報発信、情報倫理等のコンテンツ作成による自学自習システム
 - 高度な情報試験受験用コンテンツ
 - これらコンテンツの地域発信による地域貢献
- ⑥ 各種授業用コンテンツの作成
- ⑦ セキュリティ監査
 - セキュリティ監査は数年毎に必須だが、監査法人での監査は非常に高額
 - 監査チームが学内に存在すれば、監査法人による指導は低額
 - 各大学でも同じ問題を抱える→相互監査の可能性
- ⑧ ホームページ管理
- ⑨ 校友会（愛媛大学同窓会）の情報系支援（ホームページ・データベース管理、ニュースレター、サーバ管理、その他）

⑩ 愛媛大学の地域貢献の窓口、…

2)人材育成事業

- ① 職員への情報教育
- ② 短期業務スタッフ職員等の契約派遣
- ③ 学生へのIT系実務教育
- ④ 地域における各種講演会等への講師派遣等

おわりに

「e-CIS」は愛媛大学と一体になった企業であり、この試みは国立大学法人を基礎とした新しいビジネスモデルの在り方の模索でもあります。もちろん「e-CIS」も一個の企業としての経営面等で課題や困難を避けることはできず、当然ながら相当の経営努力を要します。しかし、「e-CIS」が、常に斬新なアイデアと民間的手法を駆使し、愛媛大学の情報系・ITメディア系業務を効率的に担い、愛媛大学の財務に多面的に貢献するアウトソーサーとして継続的な活動を積み重ねることができれば、愛媛大学の競争力の強化と発展にとってきわめて有力な存在になるものと信じています。何卒ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

(株)「愛媛キャンパス情報サービス」設立準備委員会

世話人 野田 松太郎 (愛媛大学アカデミックアドバイザー、名誉教授)